

アボット、生化学・免疫インテグレーション装置 Alinity® ci シリーズを新発売

- Alinity®ファミリーは、アボットの最先端のスクリーニング検査システム製品シリーズです。
- Alinity ファミリーは、小さい設置面積・効率性・柔軟性および高度な正確性が特徴で、使いやすさ・統一性・共通のインターフェースを兼ね備えた検査室全般にわたる装置を構成します。

2019年4月15日-アボット ジャパン株式会社（本社: 東京都港区、以下、アボット）は本日、生化学・免疫インテグレーション装置 Alinity® ci シリーズ（販売名：Alinity i システム、医療機器届出番号：12B1X00001000032）を、発売いたします。

Alinity ci シリーズは、短時間で多くの検査を行うとともに、小さい設置面積でいくつもの機材を用いることなく大量の検査を行うことを可能にする柔軟性を特長としています。

今日、医療機関の検査部門は限られた資源とコストでより多くの業務を求められています。今後さらに高齢化が進み、慢性疾患の患者が増える中、検査量が増加することにより、検査部門の負担が大きくなることが想定されます。2025年までには、日本の人口の30%近くが65歳以上になり¹、国民医療費は48兆円に達すると予測²されています。医療費と臨床検査に対する需要が増加する中で、検査部門はコストを削減しながら患者ケアを改善するために価値を提供することが求められています。

アボット ジャパン株式会社 代表取締役社長 天野総太郎は、「アボットの Alinity ci シリーズは、検査室が検査結果をより迅速に臨床へ提供することをサポートできるよう、また進行する高齢化と増大する慢性疾患、医療アクセスの向上などによる検査数の増加にも効率よく対応できるよう設計されています。私どもは、Alinity ci シリーズと業務分析とインフォマティクスを組み合わせた弊社製品 AlinIQ とで定量的医療の質向上へ貢献できることを願ってやみません。」と述べています。

Alinity ci シリーズについて

Alinity ci シリーズは、小さい設置面積で高性能という特長に加え、多くの顧客から寄せられた知見に基づいた、以下の機能を有しています：

- 作業を中断することなく、検体や試薬の架設および別レーンでの緊急検体の処理が可能です。
- 溶液や消耗品をいつでも供給でき、長時間装置を止めたり検査を中断したりすることなく、新たな溶液の架設が可能です。
- 溶液ボトルは鍵と鍵穴のように設計され、正しい溶液ボトルは正しい箇所には架設できません。
- Alinity ファミリー全機種で共通の直感的かつ簡単に操作可能なインターフェースは、検査室の限られた人員体制に貢献します。

Alinity シリーズでは、全自動化学発光免疫測定装置 Alinity i と全自動総合血液学分析装置 Alinity h シリーズを 2017 年に発売しています。

Alinity シリーズは、免疫検査・生化学検査・ポイントオブケア・血液学検査・血液製剤スクリーニング検査及び遺伝子検査を含む、スクリーニング検査システムの製品シリーズです。

Alinity について

Alinity の製品ラインには生化学検査、免疫検査、血液製剤スクリーニング検査、ポイントオブケア、血液学検査、遺伝子検査の各装置があり、これらに加えて AlinIQ という、業務分析とインフォマティクスを組み合わせた新しいプロフェッショナルサービスがあります。

Alinity は、少ない人員で患者さんにより良い医療を提供するという検査室と医療機関にとっての最も重要な課題を解決致します。詳しくはこちらをご覧ください。 abbott.com/alinity。

Alinity i (販売名：Alinity i システム、医療機器届出番号：12B1X00001000032)

Alinity h シリーズ (販売名：Alinity h システム、医療機器届出番号：12B1X00001000033)

Alinity、AlinIQ はアボット・ラボラトリーズの登録商標です。

アボットについて

アボットは、人々が人生のあらゆるステージにおいて最高の人生を送ることができるようサポートするグローバルヘルスケアリーダーです。業界をリードする診断薬・機器、医療機器、栄養剤、およびブランドジェネリック医薬品分野の事業および製品を含め、人々の生活に大きな影響をもたらす画期的なアボットの技術は、ヘルスケアの広範な領域にわたっています。現在、世界 160 カ国以上で、約 103,000 人の社員が活動しています。

アボット (www.abbott.com)、アボットジャパン (www.abbott.co.jp)、フェイスブック (www.facebook.com/Abbott)、ツイッター (@AbbottNews、@AbbottGlobal) も合わせてご参照ください。

本件に関するメディアからの問い合わせ先

アボットジャパン株式会社 パブリックアフェアーズ

TEL 03-4555-1002 FAX 03-4555-1022

email: Public_affairs_japan@abbott.com

¹平成 30 年版高齢社会白書

²内閣府資料 2040 年を見据えた社会保障の将来見通し